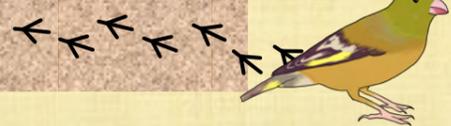


オガサワラカワラヒワを守るために



小笠原 世界自然遺産だより

第2号
2023年1月

オガサワラカワラヒワ(通称:オガヒワ)は、戦前は小笠原諸島全域、現在は母島列島と南硫黄島のみで生息する小鳥です。近年は、ネズミによる食害等が要因で生息数が激減し、絶滅寸前と考えられており、管理機関や島内団体が連携し、オガヒワを守るために様々な取組を行っています。

保護増殖事業

令和3年度から保護増殖事業を開始し、各事業の優先順位や実施計画を関係機関と一緒に検討しています。



生息域外保全

現在、父島内の屋内飼育施設でオガヒワの飼育繁殖に取り組んでいます。今後、母島に保護増殖施設の建設を予定しています。



向島ネズミ対策



オガヒワの卵やヒナを捕食するネズミの対策を2020年から向島で行っています。



平島ネズミ対策

今年度からは平島でもネズミ対策を開始し、12月下旬には、全島での殺鼠剤の手撒き散布を行いました。2月にはベイトステーションも設置する予定です。



祝!! 媒島・嫁島のネズミ駆除が完了しました!



東京都では、媒島、嫁島におけるネズミ駆除に取り組んできました。2022年2月に媒島での駆除が完了。そして2022年12月に嫁島での駆除が完了し、ついに両島で駆除完了となりました。現在、ネズミによって被害を受けていた動植物が回復してきています。※殺鼠剤散布から3年間ネズミが確認されない場合、駆除完了としています。

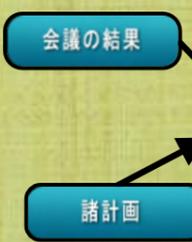


オビアナカタマイマイ (媒島屏風山のみで生息)

会議結果の詳細・遺産管理について

おたよりを読んで、小笠原の自然を守るための取組をもっと知りたい!と思ったら、“小笠原自然情報センターHP”へ!

小笠原自然情報センターHPは右のQRコードからアクセスできます
過去の会議結果については、「会議の結果」へ
現在の管理計画については、「諸計画」へ



<http://ogasawara-info.jp/>

◆お問い合わせ先◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所(世界遺産センター)
Tel/Fax: 04998-2-7174/7175
林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター
Tel/Fax: 04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁土木課自然環境担当
Tel/Fax: 04998-2-2167/2302
小笠原村環境課
Tel/Fax: 04998-2-2270/2271



世界自然遺産を守るための全体計画「管理計画」の見直し作業をしています

今年度は、小笠原の世界自然遺産の価値を守るための全体計画「管理計画」の見直し作業を行っています。
今号では、改めて世界遺産の価値や管理のしくみをご紹介します。管理計画見直し作業の状況等をお伝えします。

世界自然遺産登録！

小笠原諸島は 2011年6月、
日本で4番目の世界自然遺産に登録されました。

小笠原には、ここでしか見られない貴重な生き物がたくさんいますが、中でも維管束植物*と陸産貝類*は、今も進行中の進化の過程を観察できることから、「顕著で普遍的な価値」として世界的なお墨付きをもらっています。

※コケ類と藻類を除く植物全般 ※カタツムリ



2010

管理計画

2011

グリーンアノール
侵入確認 (兄島)

外来種

遺産登録に向けて
世界自然遺産の推薦地として、
小笠原諸島の保全方針等を整理

- ・小笠原村環境課が新設
- ・オガサワラハンミョウの
野生復帰開始 (兄島)
- ・アホドリ繁殖成功 (聳島)

2016
世界自然遺産
登録5周年

初めて地域連絡会議も
検討に参加し、
地域課題に関する視点を追加

自然環境の変化や
遺産登録後の管理の現状等を
踏まえて改定

管理計画 ってなに？

- 小笠原の自然環境の中長期的な保全方針、体制、各種制度の運用方針等をまとめた計画書。
- 小笠原諸島世界自然遺産に関する計画書の中でも、**特に重要な全体計画。**

世界自然遺産地域を含む小笠原諸島の自然環境は、法令やそれらに基づく多数の事業・取組、各種ルールやボランティア活動等によって守られています。
各種取組をより計画的・効果的に実行していくため、また様々な関係者と保全管理の目標を共有するために管理計画を策定しています。

2018

- ・グリーンアノールの分布拡大 (兄島)
- ・アジアベッコウの分布拡大 (母島)
- ・エリマキコウガイビルの分布拡大 (母島)
- ・オガサワラカワラヒワの個体数減少
- ・オガサワラシジミの繁殖途絶

などの新たな課題が顕在化

外来種

- ・小笠原世界遺産センター開所
- ・村民参加の森づくりを開始 (父島・母島)
- ・マイマイの野生復帰開始 (巽島)
- ・アカガシラカラスバトの個体数増加

2021
世界自然遺産
登録10周年

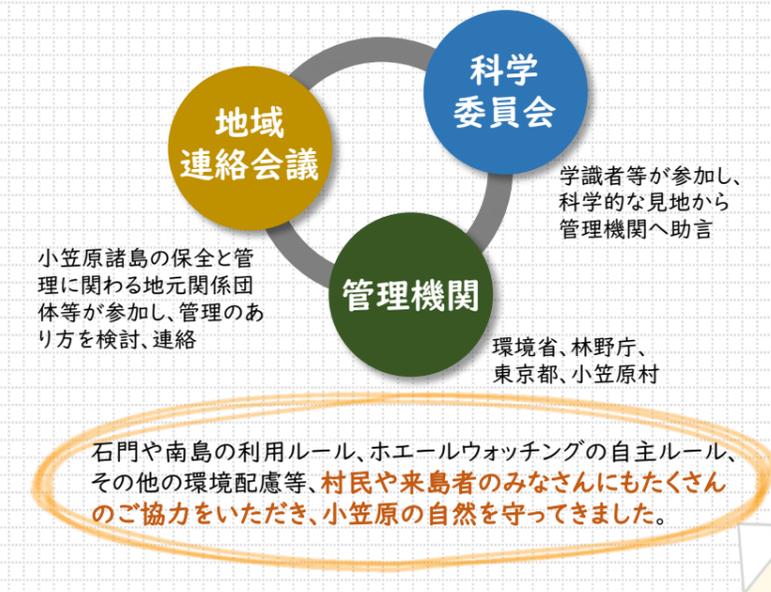
2022~

地域参画推進のための
体制・仕組づくりを検討

人・自然、みんなが安心して暮らせる島々を目指して
これからもご理解、ご協力をお願いいたします。

● どうやって世界遺産を守っているの？ ●

遺産登録前の2006年度から
「地域連絡会議」と「科学委員会」を設置し、この2つの会議と「管理機関」
が中心となって、世界遺産の管理を進めてきました。



現在作業中！

世界自然遺産小笠原諸島管理計画 見直し作業

科学委員会や地域連絡会議等の関係者と連携しながら、
管理計画の見直し作業を行っています。

大まかな見直し方針について
地域連絡会議、科学委員会のメンバーで確認しました。

<地域連絡会議(地域の代表者)からのコメント>

- ・遺産が「誇り」や「地域愛」に繋がるものであると良い
- ・官民連携で地域ブランド戦略を進められると良い
- ・レスポンスブルーツーリズムを取り入れ、観光による遺産価値向上を目指せるのではないかと
- ・ボランティアツアー、WEBイベント等、様々な方法で普及啓発をしていけると良い
- ・指定ルートは、現状に即した見直しと丁寧な説明が必要
- ・遺産価値の現状や課題について、地域へ明瞭に説明してほしい
- ・大きな干ばつや台風への備えが必要

…等々

<科学委員会(科学者)からのコメント>

- ・気候変動への対応策として、長期・継続的な調査が考えられる
- ・地形・地質については、遺産価値の再評価を推進すべき
- ・民間企業との連携等、新たな資金獲得の仕組みを検討すべき
- ・科学者の役割について改めて整理、明記すべき
- ・新たな外来種対策の方針については、引き続き議論が必要
- ・計画の中でどれを優先して取り組むべきかわかるようにしてほしい

…等々

今後、管理機関が中心となって
より具体的な取組の方針等を検討していきます。